

第2号様式(第10条関係)

令和2年7月27日

沖縄県議会議長 殿

沖縄県議会議員

亀濱 玲子



令和2年度政務活動費に係る収支報告について

沖縄県政務活動費の交付に関する条例第10条第3項に基づき、別紙のとおり令和2年度政務活動費収支報告書を提出します。



別紙

令和2年度 政務活動費収支報告書

議員名 亀濱 玲子

1 収 入 政務活動費 450,000 円

2 支 出

(単位:円)

項 目	支 出 額	備 考
調査研究費	16,740	沖縄全戦没者追悼式(糸満摩文仁平和祈念公園)
研 修 費		
広聴広報費	39,390	議会報告配布
要請陳情等 活 動 費		
会 議 費	52,100	赤土流出被害についてモスク生産組合、宮古島市漁業協同組合 担当に聴き取り意見交換。コロナ禍における聴覚障害者の支援等
資料作成費	12,000	市民意見交換会等に関する資料作成等
資料購入費	28,335	新聞購読料
事 務 所 費	22,988	事務所電気料金・水道料金
事 務 費	95,119	固定電話・カラー複合機リース料・使用料等 消耗品
人 件 費	129,780	政務活動に係る雇用職員人件費
合 計	396,452	

注 備考欄には、主たる支出の内訳を記入する。

3 残 余 53,548 円

●沖縄県戦没者追悼式へ参列

2020年6月23日(火) 午前11時30分 平和記念公園

航空券

宮古空港(6月22日) — 那覇空港(6月23日) 16,740円(往復)

* 県主催の戦没者追悼式であることから全額充当

収入印紙
STAMP



領 収 書

RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIPT NO: 9065173



RECEIVED FROM

カマハマレイコ 様

領収額
THE SUM OF

¥16740 (円)

明細 DETAILS	
支払手段 FORM OF PAYMENT	金額 AMOUNT
現金 CASH	¥16740
クレジットカード() CREDIT CARD	
JALクーポン・e JALポイント JAL COUPON・e JAL POINT	
その他() OTHERS	

AC-10535/2019.10 (ORIGINAL)

(円)

ただし、
IN PAYMENT OF

運賃・税金・料金/手数料 その他()
FARE・TAX・FEE/CHARGE OTHERS

b/22 宮古-那覇
b/23 那覇-宮古 往復分として

備考
REMARKS

131-1493220355

日本航空株式会社 Japan Airlines Co.,Ltd.

視察調査報告書

経費区分	調査研究費			
年月日	令和2年6月23日(火) 午前11時50分			
場所	糸満市 摩文仁平和祈念公園内			
相手方	沖縄県 沖縄県議会			
目的	「沖縄全戦没者追悼式」沖縄戦における全戦没者を追悼し平和な世界を祈る			
日程概要	月日(曜日)	時間	場所	内容
	6月23日(火)	10時30分	県議会	県議会棟～摩文仁へ
	6月23日(火)	11時30分	糸満市摩文仁	
	6月23日(火)	11時50分	平和祈念公園	沖縄全戦没者追悼式典
内容	沖縄戦から75年の節目に当たる今年、全沖縄線物者を追悼し、基地のない沖縄、戦争のない平和な世界を祈る			
成果及び所見	<p>今年、コロナウイルスの感染拡がり全戦没者追悼式の開催が懸念される中、規模縮小の形で実施された。沖縄戦から75年の節目にあたる今年、沖縄からメッセージを発信することの意義は大きい。知事の平和宣言には、アフガンで凶弾に倒れた仲村哲医師の生きた「非暴力」の姿が語られた。高校生の詩は、平和へ向かう想像する若い希望が綴られていた。沖縄を取り巻く現状にあきらめず、理不尽さに抗う県民の想いを反芻し、世界が平和を創る道のり厳しさを増しているようにも思える現実に心を奮い立たせねばと思う。戦争体験を風化させてはならないと改めて思う。全沖縄線物者を追悼し、基地のない沖縄、戦争のない平和な世界を強く願って。</p>			
備考				

議会報告配布 4月1日~25日

- ① 城辺地区 2,000部 20,000円
 - ② 上野地区 1,000部 10,000円
 - ③ 平良(東・南・平一学区 下地地区) 4,500部 45,000円
- 合計: 75,000円 *按分(1/2) 37,500円

受 領 書

亀濱 玲子 様

金 20,000円

但し、県議会報告書配布代金として

配布状況

配布先	世帯数
城辺地区	2,000

令和 2 年 4 月 20 日

住 所

氏 名

受 領 書

亀濱 玲子 様

金 10,000 円

但し、県議会報告書配布代金として

配布状況

配布先	世帯数
上野地区	1,000

令和 2 年 4 月 25 日

住 所



氏 名



受 領 書

亀濱 玲子 様

金 45,000 円

但し、県議会報告書配布代金として

配布状況

配布先	世帯数	配布先	世帯数
平良東学区	1,000	平良平一学区	1,000
平良南学区	2,000	下地地区	500

令和 2 年 4 月 25 日

住 所



氏 名



議会報告書郵送

① @84 円×45 通 3,780 円 (4 月 9 日)

* 後援会と按分 (1/2) 1,890 円を充当

①

領収書

魚濱玲子 様

[別納引受]		
第一種定形	18.0g	
@84	45通	¥3,780
小 計		¥3,780
郵便物引受合計通数	45通	
課税計 (10%)		¥3,780
(内消費税等)		¥343)
非課税計		¥0

合計	¥3,780
お預り金額	¥10,780
おつり	¥7,000



〒100-8792 日本郵便株式会社
 東京都千代田区大手町2-3-1
 取扱日時: 2020年 4月 9日 13:57
 担当: XXXXXXXXXX
 発行No. 200409A6352 端N26箱01
 連絡先: 平良西里郵便局
 TEL: 0980-72-1617

亀浜しよこ 活動スナップより 2017～2020

●「沖縄県中央児童相談所宮古分室」が開設・体制強化！

児童虐待は全国でも大きな問題です。沖縄県の児童相談所の充実が求められる中、離島の宮古圏域での「宮古分室」の必要性を訴え、設置が実現しました。新年度も、職員強化が図られます。(写真は、各派の議員で訪問視察 2017年5月)



●台湾ハンセン病療養所「楽生院」・高雄市立図書館を視察

台湾のハンセン病療養所視察。戦時下で沖縄・宮古から移り住んだ人々の中で、患者は、日本軍により強制収容された。戦後に帰国した方々の名簿が残る。高雄市立図書館は、市民の集う機能の多い構造で参考になった。(2017年11月)



■沖縄の墓地問題を訴える訪米行動団

沖縄の米軍基地問題を米国の関係機関等へ訴えるオール沖縄行動団に県議団も参加。カリフォルニア州の関係機関、国会議員へ基地の現状を訴え、市民団体とも交流。写真は、カマラ・ハリス上院議員事務所を訪問。(2018年8月)



●宮古市道応指導教室「まていだ教室」を視察

「まていだ教室」は、市議時代にその必要性を訴え実現した。心因性の不登校の児童生徒にとって大切な場所である。子どもたちの過ごす環境をしっかりと考えたい。(2018年9月)



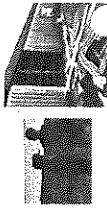
■多良間村製糖工場等視察

多良間村の製糖工場を視察。新しい黒糖生産ラインの説明では、外国へも販路拡大に力を入れたと。職員の方々に働き方改革に伴う製糖工場での課題についても聴き取り。畜産、農業関係視察。(2019年8月)



■台風被害・赤土流失調査

相次ぐ台風の襲来で、サトウキビなど農作物への被害が大きさい。畑からの土の流失。特に島尻地区の圃場から海への赤土は池間大橋付近までの広範囲で流失。県へも対策を申し入れる。(2019年)



●母子自立支援施設「うるはし」を視察

宮古島市にも必要な母子自立支援の取り組みが必須。うるま市を視察(2020年)



●へき地の診療所跡を視察

八重山伊原間の閉鎖された診療所を調査。八重山病院長に今後の対応について聴く(2020年1月)



■地下水調査のモニタリング地点の追加調査！

県議会で取り上げ、宮古島市と協力して地下水モニタリング調査を追加実施。調査地を確認のため調査に同行。(2020年2月)



■陸自保良弾薬庫建設反対！知事の現地視察を地域代表と共に要請！

保良・七又の地城住民と平和運動団体が県庁へ。陸自弾薬庫建設反対集会(12・24)の決議文と資料を携えて、知事の弾薬庫建設の現地視察を強く訴えた。穏やかな曇り空が弾薬庫で「標的の島」となる危険性を強く訴え、辺野古新基地建設と同様に南西諸島の軍事基地化の現状を考えてほしいと要請。その後、弾薬庫建設反対記者会見。(2020年1月)



沖縄県議會議員 亀浜しよこ 活動報告

離島のいのちと暮らしを守る声 県政へ



亀浜しよこ 略歴

- 1954年 宮古島市平良生まれ
- 1972年 県立宮古高等学校卒業
- 1975年 私立東大阪短期大学卒業 (中学教員免許取得)
- 1997年 平良市議会議員 (2期)
- 2005年 宮古島市議会議員 (3期11年、県議会へ)
- 2016年 沖縄県議会議員 (1期)
(文教厚生常任委員会・子どもの未来応援特別委員会)

事務所

〒906-0007
 沖縄県宮古島市平良字東仲宗根744-2
 TEL・FAX (0980) 73-5012
 E-mail: kamehama-r@waoodo.ocn.ne.jp

沖縄県議会の情報はホームページで見ることができ
<http://www.pref.okinawa.jp/site/igikai/>

- ・議会議の検索・閲覧
- ・議員書の採択
- ・議会中継 など

沖縄県議会



宮古島・多良間島、離島の声を県へ！

沖繩は、東西約1,000キロ、南北約400キロに、39の有人離島が点在しています。宮古島や多良間島を含め、離島の不利性解消を訴え、島々が大切にされる施策の充実を求め、県議会活動は3年余、学校での医療的ケア児童への支援や沖縄県中央児童相談所宮古分室の設置、離島の患者等支援の拡充などを実現することができました。市民の皆さまに感謝を申し上げます。

翁長雄志前知事から県政を引き継いだ玉城デニ知事は、「離島力の向上」「誰一人とり残さない社会づくり」「持続可能な優しい沖縄」を旨とし、基地問題、子どもの貧困問題、若者の自立支援、雇用問題など山積する課題に力を入れています。

今年、首里城の復興への取り組みをはじめ、県でも発生した豚熱(CSF)対応、防疫対策等にも、懸命な取り組みを行っています。

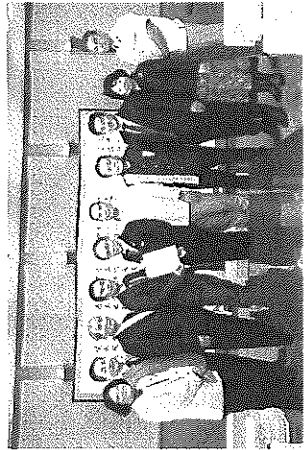
「どこに住んでも、誰でも命の重さは平等である」ことを願い、離島の医療や福祉の課題への取り組み、子どもたちの育ちや学ぶ環境の充実、高齢者や障がいのある方々が安心して暮らせること。農業、漁業の振興、観光のあり方やオーパーツーリズムの課題、命の水、自然や伝統・文化が大切にされる安心して暮らせる島をめざしています。

保良地域における陸自弾薬庫建設工事が、防衛省により強行されている状況に班足し建設中止を訴えてきましたが、今後も住民と共に強く反対します！
戦後75年、沖縄戦の悲惨な体験を伝え、平和を希求する県民の辺野古新基地反対の意思を軸に、「沖縄を平和の緩衝地帯」をめざす知事に賛同します。

沖縄振興計画の「沖縄21世紀ビジョン基本計画」が残り2年となっています。島しよ県沖繩の発展、島々の暮らしが大切にされる沖縄らしい優しい社会づくり、そして地方自治のあるべき姿を、玉城県政と共にめざします！



玉城デニ一県政と共に！



知事へ新年度の予算・施策を会派要請

亀浜玲子議員一般質問に登壇 県議会2月定例会

2020年3月2日



■玉城デニ一知事へ、宮古で達成が進む弾薬庫建設地を早期に視察するよう求める！

池田知事公室長は、弾薬庫建設地への知事視察について、「知事は、できるだけ多くの離島へ足を運び、施策に生かすように取り組んでほしい」と述べた。1月22日に要請があった視察についても検討していきたいと説明した。再質問での視察の時期の問いに対し、「具体的な時期を明確に申し上げることは難しいが、全体の知事の業務を見ながら、時期を検討していきたい」と述べた。

■条件不利性解消へ施策の強化・県糖の販路拡大を！

県は、離島の農水産物流通条件不利性解消について、2022年度からの計画に、県政の最重要課題と位置付け、振興発展に取り組みたいと述べた。また、県産黒糖の販路拡大について、2020年度は、一括交付金の新規事業で「沖縄黒糖販路拡大プロジェクト推進事業」を立ち上げ、商談会の実施や消費、商品開発支援などの取り組みを強化する」と語った。

■多良間のフェリー新造船への支援、農業用水の確保への支援を！

県は、宮古島・多良間島間のフェリー新造船への支援については、「20年度から21年度にかけて支援することとしている。多良間航路の建造支援を着実に実施し、航路の確保、維持に努める」と答弁した。また、多良間島の農業用水確保については「7カ所、50万トンの貯水池に雨水を集めるために464㍊の整理計画を進めている」など答弁した。

■子ども虐待防止への対策の強化を！

大城部長は、虐待防止対策の強化については「沖縄県子ども権利条例を尊重し虐待から守る社会づくり条例」を制定し、児童相談所の児童福祉司を増員し体制の強化を図る。虐待のあった親子への支援は、身近な地域でも実施できるように検討していくと答えた。

■離島の不妊治療希望者への支援の拡充を！

保健医療部長は、離島の特定不妊治療については、県としても渡航費等を含め支援してきただころ。離島からのタイミング治療に係る航空機の座席確保の必要性と航空会社への県から協力依頼については、状況を確認しながら県としてかわり方を検討すると答弁した。

■ハンセン病療養所の将来構想、回復者支援へ県の施策を！

県は、沖縄2島の療養所の将来構想に関わり、宮古南静園は「検討会議」の開催を県も協力していく。退所者・非入所者支援については、課題となっている後遺症に起因する治療等について医療機関と協力して取り組み考え、啓発事業は、医療従事者研修の実施を検討していること答弁した。

■住宅確保の困難さが指摘される離島赴任の教職員等への対応を！

住宅確保の困難さが指摘される離島赴任の教職員について、教育長は、「県立学校教職員の着後手当を増額支給した。臨時的任用職員に対しては、20年度から期限を限定して一定戸数の民間賃貸住宅を借り受けると答弁。*委員会の質疑で、県立病院を含む県職員への支援についても確認した。

(抜粋)

2020年3月23日

新型コロナウイルス対策の強化を！

■県議会3月23日、新型コロナウイルス対策費20年度補正予算案に対し、内容について賛意。

■新型コロナウイルスの感染拡大に対する経済対策費を盛り込んだ2019年度一般会計補正予算案（2億2800万円）と、20年度同補正予算案（170億円）が上程された。

■新型コロナウイルスの緊急対策に向けた玉城知事の決意を！

新型コロナウイルスの緊急対策に向けた決意を玉城アニー知事に質した。知事は、「外国からの航空機の減便、クルーズ船の寄港の減少等による観光客の減少などで、県内の社会経済に数々の影響が及んでいる」と述べ、「本県が抱える特殊事情を考慮の上で、国の緊急対策と連動し、県のとりに得るあらゆる対策を迅速に切れ目なく進めていきたい」と決意を語った。

■離島を含めた対策の強化、農家などへの支援をしっかり対応してほしい！

●離島の対策、各圏域保健所での相談、検査への対応、患者発生時の対策について質疑。
 県の各圏域保健所において、住民からの相談を受け付け、検査も対応している。（宮古保健所等）
 患者が出た際、宮古・八重山病院等の県立入院での対応が可能。また重篤な患者を本島病院への搬送について、設備が整っているメッシュサポートのヘリ、海保のヘリでの搬送するための対策を講じると、保健医療部長が答弁した。

今、宮古島では、トウガンが市場の取引が減少、農家への影響が始めている。他の作物の影響も懸念されることから、産地拠点作物の離島者が出ないためにも対策をしっかりと実施することが求められる。県単独でも対策に力を入れてほしいとの亀浜の質問に、農林水産部長が「価格下落分のうち一定割合について補償を行う（価格差補給金の交付や、県産品類について、ラジオ放送で消費拡大のプロモーションを実施している）」と説明した上で、「生産者団体と連携し、農林漁業者の経営安定に向け必要な対策を講じる」と強調した。

■沖縄県、水際対策、離島への対策の強化を！

同会派の次呂久成衆議員も質疑。空港の国際線での対策同様、国内線や離島の空港などでも、「サーモグラフィ」の設置等、体制の強化を求めた。県は、対策会議で検討していくと回答した。

■県議会では、個人向けの支援事業費を盛り込んだ19年度一般会計補正予算案を全会一致で可決。20年度同補正予算案は、27日の最終本会議で可決された。

* 県民一人ひとりができること、手洗いを十分に行うよう心がけましょう！
 協力して、今の厳しい状況を乗り越えていきましょう！



■離島患者支援を拡充！【福祉・医療】

- 沖縄県中央児童相談所宮古分室設置・体制の拡充！（2017年から実施）
- 離島患者等島外通院費支援事業の拡充（離島18市町村で実現：がん患者、特定難病、小児慢性特定疾病、特定不妊治療、子宮頸がんワクチン接種者等）
- 北部・離島専門医師派遣事業拡充（県立宮古病院血液専門医診療等）
- 沖縄県ヘルプマークを全市町村で実施（2018年）
- 聴覚障害者支援「ネット119」の設置へ（2020年）

■離島の生活支援の拡充・離島割引の継続！

- 離島住民等交通コスト負担軽減（離島割）事業の継続！
- 大分県へ移動販売車支援事業 実現！（沖縄県小さな拠点づくり推進事業）（2017年）

■離島の児童生徒支援・子育て支援の拡充！【教育・子育て支援・子ども貧困対策】

- 離島の児童生徒選手派遣費補助事業（中・高体連大会）の拡充！（2020年）
- 中学校・高校への部活動指導員の配置（2019年開始、年次拡充）
- 小・中学校へスクール・サポート・スタッフ配置事業（2019年開始）
- 学校での医療的ケア児へ支援の拡充（2017年）
- 子どもの居場所・学習支援・ひとり親家庭支援事業の拡充！
- 保育士試験・スキルアップ研修離島開催（宮古・石垣実施）実現！（2018年）
- 伊良部高校の生徒支援を！（2020年）

■多良間フェリー新造船実現！【多良間村の振興】

- 多良間フェリー新造船事業（総事業費17億円内、10億円を県支援！令和3年度に就航予定）
- 多良間村農業用水確保・基礎整備事業 県支援強化！

■農水産物不利性解消・黒糖の販路拡大へ！【農業・水産業】

- 離島の農水産物流通不利性解消助成事業 継続が実現！
- 「沖縄黒糖販路拡大プロモーション推進事業 新規実現！（2020年）」
- 家畜伝染病予防事業拡充！（2020年）
- パラオE.E.Z.農業総額支援事業（漁業協議に関する情報収集等）新規実現！（2020年）

■地下水モニタリング調査の拡充！【環境・平和】

- 宮古島地下水調査 モニタリング探水地追加 拡充！（2019年）
- 動物収容・譲渡拠点整備事業（新規）で保護団体とネットワーク強化（2020年）
- 離島廃棄物適正処理促進事業の拡充！（2020年）
- 不発弾等放射性探査事業 地元発注継続！（2020年）
- 県希少野生動物保護条例 実現！（2019年）
- 辺野古新基地建設・住民合意のない自衛隊配備・弾薬庫建設にNO！

■離島赴任者等へ支援！【労働環境改善】

- 宮古・石垣への県職員・教職員の離島赴任着後手当を増額！（2019年）
- 臨時的就任職員への民間住宅一定個数の支援（2020年）

■観光・離島振興！【観光・離島振興】

- 下地島空港の開港、平和的利活用で宮古島・沖縄の振興へ
- 離島観光・交流促進事業、離島観光活性化促進事業
- 離島空港整備事業（宮古空港・多良間空港）、池間大橋橋りょう補修事業
- 宮古島市広域公園計画の事業化へ



- モズク生産者・平良漁業協同組合担当者から大雨による大浦湾への赤土流出の状況について
聴き取り、意見交換。

日時：2020年6月11日（木）16時～18時

場所：平良西原地区公民館

経費：飲み物購入代金 1,800円 会場使用料金： 無 合計：1,800円

* 赤土流出の状況と関係者の意見交換等、議会活動に必要なことから全額充当

FamilyMart

宮古鏡原店
沖縄県宮古島市平良字西里
1468-9
電話：0980-73-9859

2020年6月11日（木）16:10
店番 3-2790 責No.011

領 収 証
◎天然水新潟県津南60
@100×11点 ¥1,100軽
クリスタルガイザー
@100×4点 ¥400軽
◎ファミコレさんびん茶
@100×3点 ¥300軽
合 計 ¥1,800
(8%対象 ¥1,800)
(内消費税等 ¥133)
お 預 り ¥5,000
お 釣 り ¥3,200

「軽」は軽減税率対象商品です。
T会員番号 *****
ショッピングP(3日内加算)
現在利用可能*印
Tマネー残高 ¥-
カードが無効の場合、ポイントは
たまりません。ポイントに関わる
各種キャンペーンの詳細は、
ファミリーマートのホームページ
にてご確認ください。

FamilyMart

宮古鏡原店
沖縄県宮古島市平良字西里
1468-9
電話：0980-73-9859

領 収 証

2020年6月11日

木差
¥1,800-
(8%対象 ¥1,800)

但し
税抜商品額 ¥1,667
消費税等 ¥133

上記正に領収いたしました

<本証取扱い上のお願い>
財布等に入れ保管される場合、
面を内側に折って保管して下さい

店番 3-1523

責No.011

統一様式-①

領 収 書 綴

経費区分 (会議費)

- コロナ禍における聴覚障がい者の課題、総務省事業「遠隔手話システムの自治体への導入」について、当事者団体との意見交換会。

日時：2020年6月20日(土) 17時20分～20時50分

会場：宮古島マリンターミナル小研修室

経費：手話通訳派遣費 41,060円 会場費：9,240円 合計：50,300円

* 議会活動に必要なことから全額充当

NO. 000194

令和2年6月22日

領収書

亀濱 玲子 様

社会福祉法人
 沖縄県身体障害者福祉協会
 会長 山城 充正
 八重瀬町字仲座1038-1
 TEL 098-851-3455

コロナ禍と総務省事業における当事者との
 件名：聴き取り及び意見交換会

金額 41,060円 (税込)

但し、下記のとおり領収いたしました。

● 手話通訳

派遣日時	項目	数量	人数	金額
令和2年6月20日(土) 17:20~20:50	派遣手当:1H3,500円 (事務手数料等含む)	4H	1人	14,000円
	航空費	1往復	1人	18,940円
	宿泊費	1泊	1人	5,500円
	駐車場使用料	1回	1人	1,600円
	交通費:30円/km	34km	1人	1,020円
				41,060円

宮古島市 納入通知書・領収証書

906-0007

宮古島市平良字東仲宗根744-2

亀濱玲子 様

令和02年06月18日

宮古島市長 下地 敏彦

※ 右記の金額を納付期限までに納付してください。

※ 納入取り扱い金融機関は、裏面をご覧ください。

※ 切り取らないでお出してください。

(歳入)		納付書番号	0010910
納入者氏名			
亀濱玲子 様			
摘要			
小研修室(17:30~21:30) 1,600円*4日*1.25+消費税=8,800円			
冷房使用料 100円*4日+消費税=440円			
所属	10505:建設部/港湾課		
年度	令和2年度	課定番号	0010909
会計	3:港湾事業特別会計	繰越区分	本年度分

納付期限 令和02年07月31日

金額 9,240 円

上記の金額を領収しました。

宮古島市会計管理者



※この領収証書は5年間大切に保管してください。(本人保管)

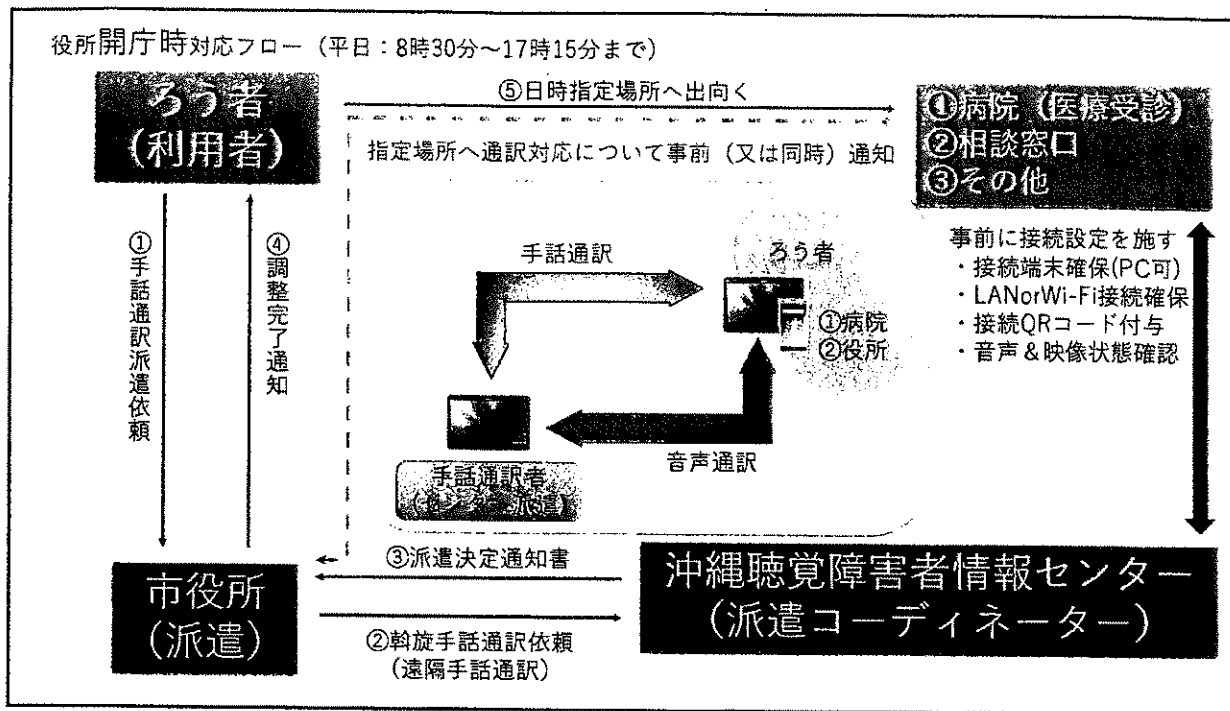
会議活動記録簿

日 時	令和2年 6月 11日 (木) 午後4時～午後6時
場 所	宮古島市西原地区公民館
対 象	西原地区モズク生産者 宮古島漁業協同組合担当者
参 加 者	西原地区モズク生産者 宮古島漁業協同組合 (伊良部昌也参事)
目 的	大雨による赤土流失が大浦湾に流出している現状について、西原地区モズク生産への影響等について聴きとり、対策への意見交換を行う。
内容及び所見	大雨により、市内狩俣のマナツ地区近くの大浦湾に赤土の流出が続き、泥が浜に噴出している状況である。6月9日、湾内のモズク生産者の方々と、県宮古事務所農林水産センター課長、宮古島市の担当と現場を確認した。この間の被害を含め、生産者、漁業協同組合担当から聴き取り。意見交換を行い、今後の対策を話し合った。「繰り返される赤土流出で、モズクやアーサの生産が被害を受けてきた。土地改良した圃場から流れ出すことを止めないと生産を続けることが厳しい」「原因究明が進まないことがはがゆい」と厳しい声が上がった。現場を視察した後、宮古島市の農林水産部長に、原因の調査を強く求め、「調査を行う」旨の回答を得た。まずは、圃場のドリーネから水脈の流れを調べる調査を行い、原因を解明することである。県宮古事務所担当課は、宮古島市の調査の後、改善することが可能なことから行っていくとの考えを示した。モズクの生産時期が近づく前に、調査を実施するよう促していきたい。
備 考	・沖縄県農林水産センター課長へ宮古島市と連携して対策を申し入れ。・宮古島市農林水産部長を訪問、水脈の流れを調べる調査を急ぐよう申し入れる。

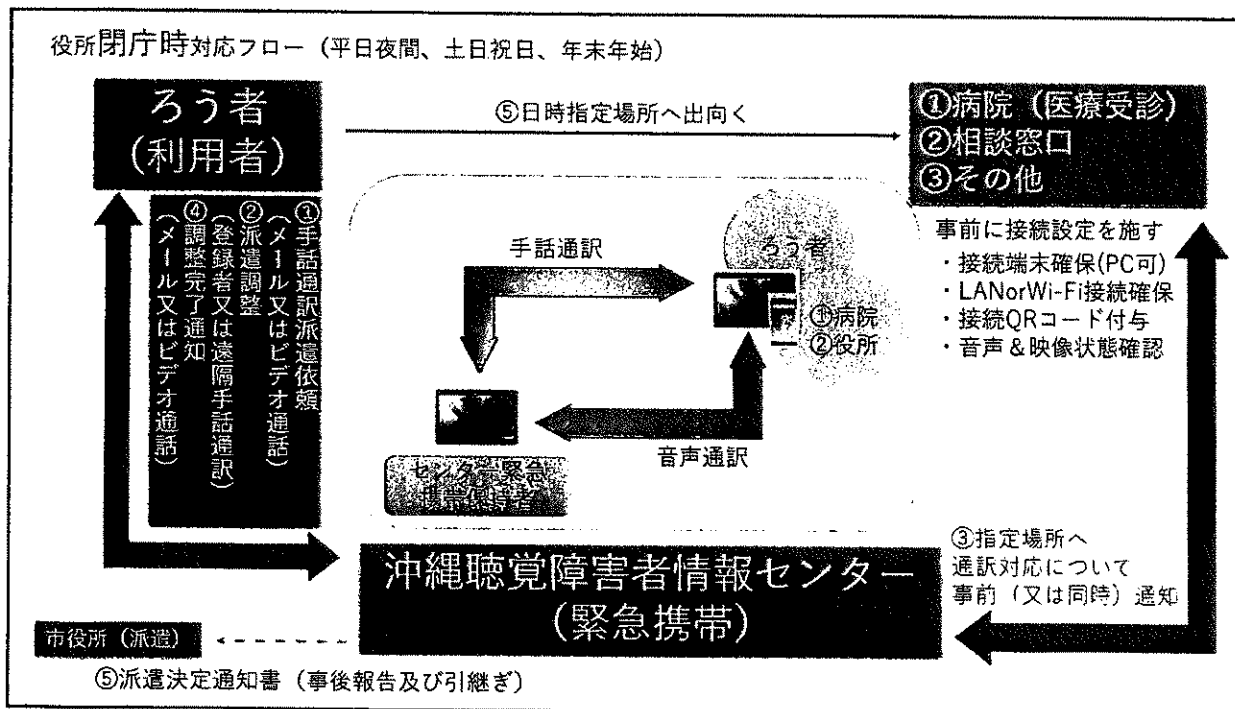
会議活動記録簿

日 時	令和2年6月20日(土) 午後5時30分～午後9時30分
場 所	宮古島マリンターミナルビル2階(小研究室)
対 象	聴覚障がい者団体・支援者・議員
参 加 者	宮古島聴覚障がい者の会 聴覚障がい者の生活を守る会宮古 沖縄県身体障害者福祉協会派遣通訳士(■氏) 支援手話通訳者(■)・議員・支援者(12名)、
目 的	コロナ禍における聴覚障害者支援の課題。とりわけ離島の当事者の支援が行き届かない課題は深刻である。総務省事業「遠隔手話通訳システム」や、宮古島市の意思疎通支援事業の状況についての聴き取り、意見交換を行い問題解決へ取り組む。
内容及び所見	<p>・コロナ禍の感染拡大が続く中で、聴覚障がいのある方々が正確な情報を必要な時に得られないことが、生活を送る上で大きな不安となっている。「沖縄県知事のコロナ関連の記者会見に手話通訳士(者)をつけてほしい」という当事者の要望は実現できたことは前進であるがまだ課題も多い」との意見が出された。宮古島市福祉課から聴覚障害者に、「コロナに感染した場合、宮古島市から手話通訳者は派遣しないという通知が届いている」という深刻な状況である。</p> <p>今年度、総務省が予算化した「遠隔手話通訳システム」の導入は、沖縄県もこれから取り組みがはじまろうとしている。当事者の意見を取り入れて実施できるよう、県議会、宮古島市への陳情書を提出し、行政と聴覚障害者の抱える不安や課題について、話し合いたいと、積極的な意見が出た。今、聴覚障がいのある多くの方は、コロナの感染が拡大する中で情報が届かない、万一の時に支援が受けられないかもしれない不安の中にある。とくに、離島の聴覚障害者は深刻である。手話通訳者の不足もあり、十分な支援が受けられないと悩む方々、当事者に対し、自治体独自の支援のあり方を考える必要があると思う。意見が次々と出される中で、「コロナは、私たち聴覚障害者にとっては、命の危機である」と語った当事者の声に、「緊急時の支援体制」を整える努力を急がなければならないと強く感じた。</p> <p>意見交換の結果、①県議会への陳情書提出 ②宮古島市へ課題改善への要望書提出と、担当部との話し合いを申し入れることが決まった。</p>
備 考	コロナ感染予防対策として、消毒液・マスク等を用意し、会場使用条件に従って会議を行った。

(参考資料)



1



2

2020年4月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（1）



現場東側からの撮影。現場の右上は保良集落と左上には七又集落が位置する。造成工事が始まり、左側の丘は碎石残渣が長年積まれてきたぼた山。削り始めている様子が分かる。

2020年4月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（2）



造成工事の様子を現場の南側から撮影
手前は県道235号線、観光地東平安名崎への一周線である。

2020年4月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（3）



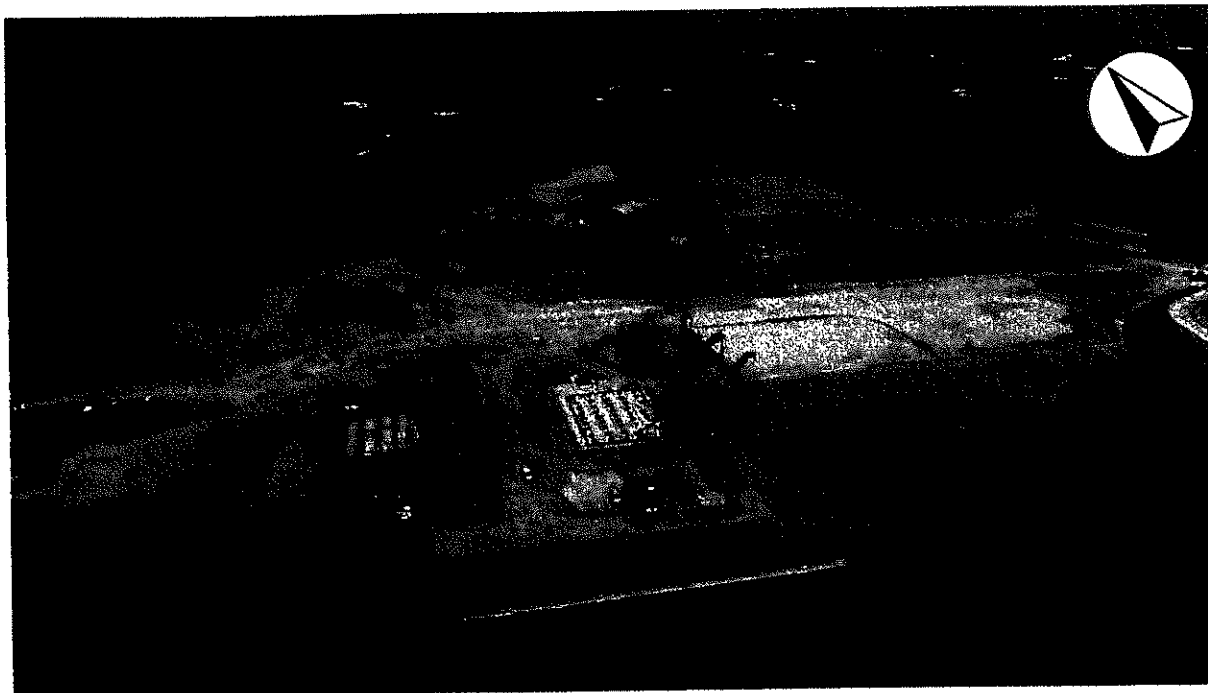
保良集落上空より陸自弾薬庫建設現場を撮影。
近い住宅までの距離はおよそ200m。集落に隣接し危険である。

2020年5月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（1）



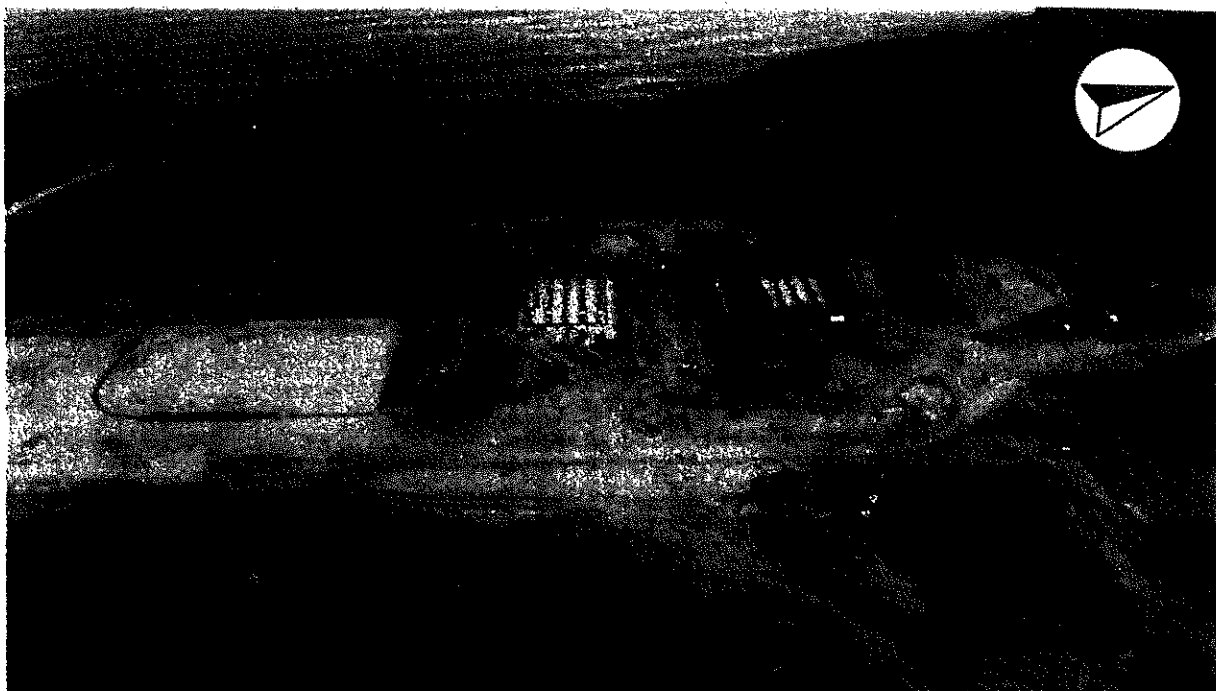
全体に造成が進んでいる様子。左手前は、碎石残渣が長年積まれてきた場所。整地がされている様子が分かる。

2020年5月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区陸薬庫建設現場（2）



弾薬庫2棟の建設現場の様子（計画は3棟）工事現場の向こうは保良集落。
千原1丁目道225号線。

2020年5月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（3）



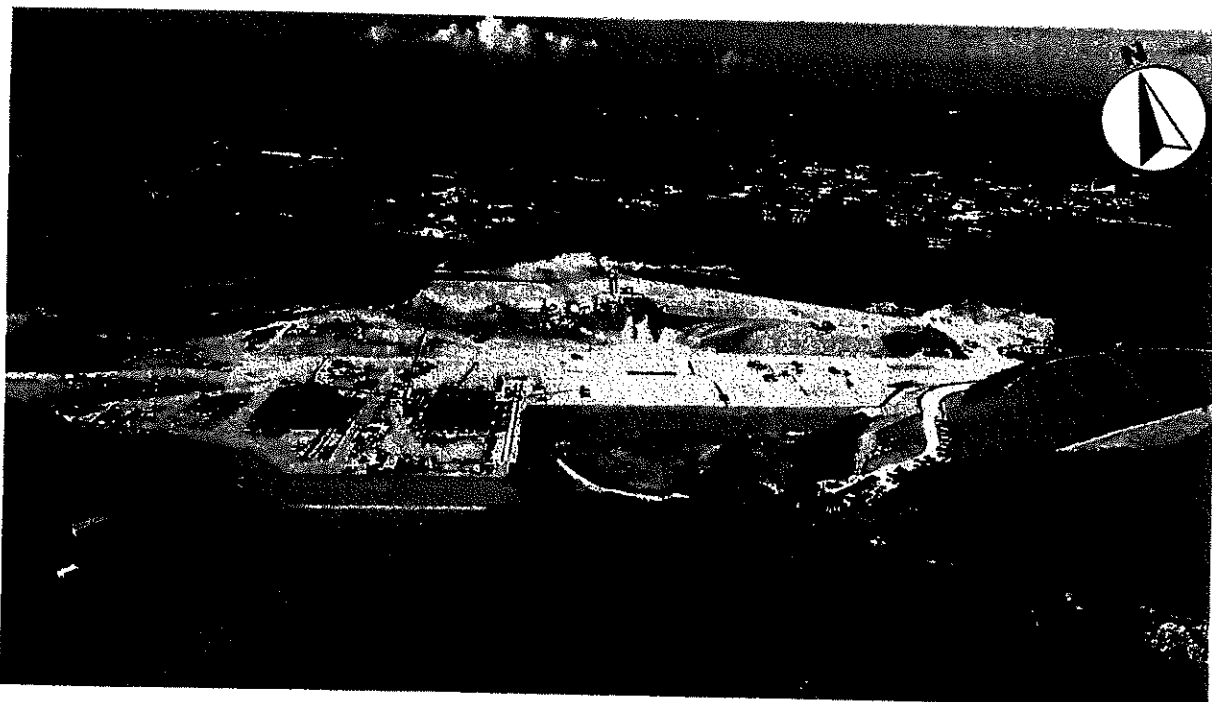
工事現場中央は、弾薬庫2棟の建設が始まる様子。クレーン車などが
入っている。

2020年6月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（1）



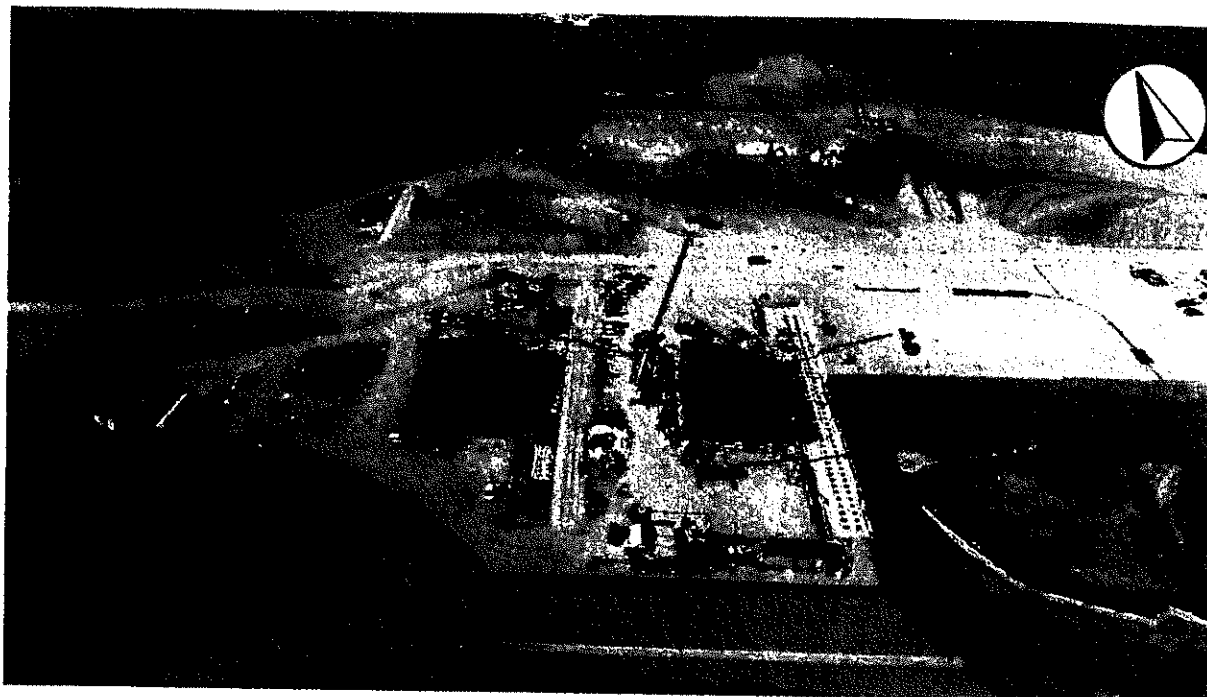
陸自弾薬庫建設現場を東側より撮影。連日大型ダンプで土砂が運び込まれ、構内の造成工事が進められている。手前に並ぶ車の列は、土砂や資材を搬入後の大型車が連なっている様子

2020年6月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（2）



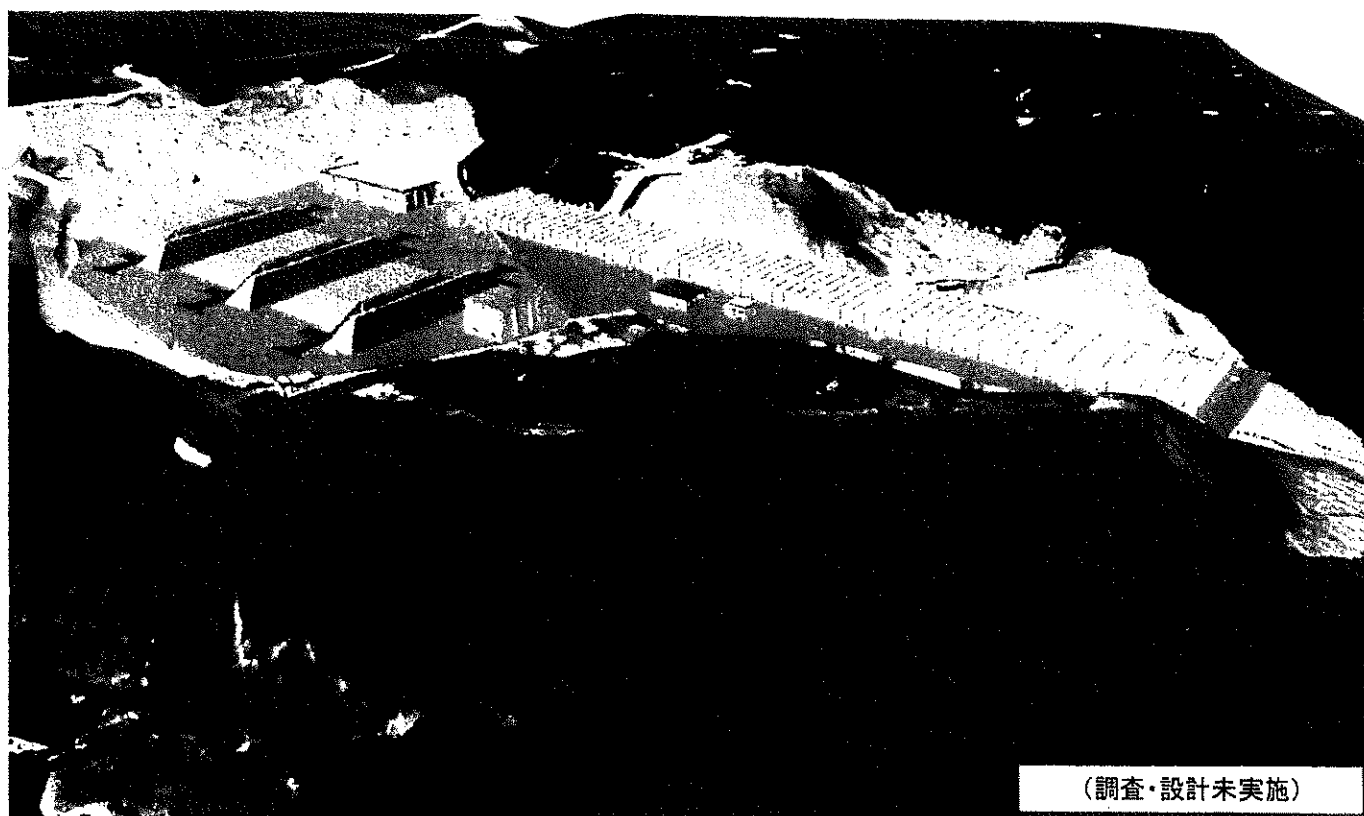
陸自弾薬庫建設工事現場の南、海側から撮影・現場の向こうは保良集落。手前の道路は県道235号線。観光地の東平安名崎への一周線。

2020年6月初旬の陸上自衛隊宮古島保良地区弾薬庫建設現場（3）



現場の南側からの撮影。中央は、建設中の弾薬庫2棟。大型クレーン車が動き、建屋が組み立てられつつある様子。

「保良鉦山」における施設配置案（概略鳥かん図）

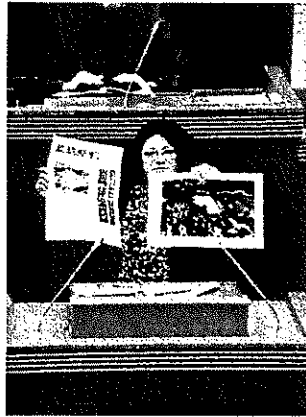


県議会活動報告

—離島の命と暮らしを守る—議席として—

2020年6月

亀濱 玲子



県議会

2016年6月定例会・9月定例会

代表質問 平成28年7月5日

■宮古島へのミサイル基地建設は島の未来を危うくする！

県の配備反対の意思を！知事の見解を！

一般質問 平成28年10月5日

■沖縄県中央児童相談所「宮古分室」は重要な課題！

一日でも早い宮古分室設置を求める！

初登壇



「沖縄県中央児童相談所宮古分室」の設置が実現！職員増による体制の強化を！

児童虐待は全国でも大きな問題です。2015年に宮古島市で起きた幼児虐待死亡事件を防ぐことができなかったことから、沖縄県中央児相「宮古分室」の設置を訴え実現しました。さらに、職員の強化を求めます。

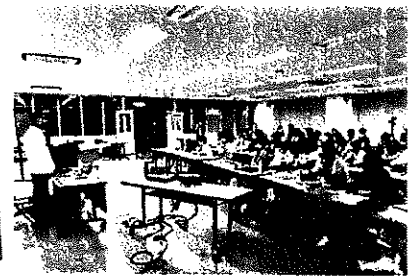


会派で訪問視察2017年5月宮古保健所

千代田の陸自宮古島駐屯地建設予定地、野原空自を地元の方に説明を受ける。



議会報告・市民意見交換会 マリントーミナル



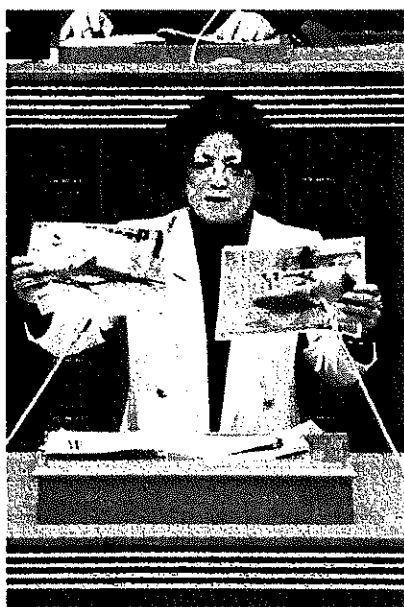
県議会活動2017 (H29) 年

一般質問 2月会

代表質問 2017 (H29) 年9月議会

宮古島池間漁協から訴えのあるサメ被害と
支援策について

宮古島の台風被害について、県の救済、
対応策を！



台湾ハンセン病療養所「楽生院」

台湾のハンセン病療養所を視察。戦時下で沖縄・宮古から台湾へ移り住んだ人たちの中で、ハンセン病と診断された患者は、日本軍により強制収容された。戦後に帰国した方々の名簿が今も残っている。



かつての入所者監禁室跡 沖縄の入所者を知る方に会う

高雄市立図書館を視察

高雄市立図書館は、市民が集う機能を考慮し多目的な活用のできる構造になっている。書籍返却の利便性も最新技術を取り入れ、市民に利用しやすさを追求している。

これからの図書館のあり方を考える上で大いに参考になった。



子ども図書室。読み聞かせルームやキャラクターと楽しめるスペースも工夫。

県議会活動 2018（平成30年）6月定例会

翁長知事へ離島振興の課題を質問

翁長知事最後の議会答弁

■質問

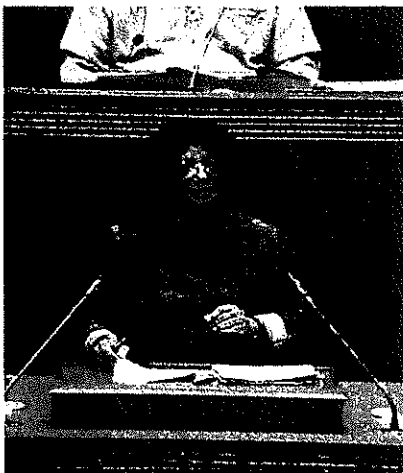
沖縄21世紀ビジョン離島振興計画の改定について何う。

(1)「離島の力が沖縄の持続的発展につながっていく」とのお考えを示された。住みよく魅力ある島づくり計画の改定の力点は、

(2)離島の交通・生活コストの低減策として、沖縄本島と離島間の格差をなくすためにガソリン・生活必需品の指標の見直しを。

●知事答弁

沖縄21世紀ビジョン離島振興計画について、沖縄県では、平成29年度に住みよく魅力ある島づくり計画を改定し、離島市町村からの意見を反映したほか、中間地点における施策評価において重要性を増した課題とされた、1、子育て支援の充実、2、地方創生の推進、3、離島観光の推進、4、人材の確保の4項目に対応する取り組みを強化する。沖縄県として、引き続き最重要施策である離島振興を推進していく。



県議会活動

2018 (H30) 年

代表質問 2018 (H30) 年11月議会

沖縄県ヘルプマークを全市町村で活用
を！

福祉施策、医療の充実について

(1) 沖縄県ヘルプマークが実現！

県下41自治体での、ニーズに合わせて活用ができるよう取り組んでいただきたい！

(2) 沖縄県手話言語条例の普及啓発

自治体等の連携と支援の拡充への具体的な取り組みを！

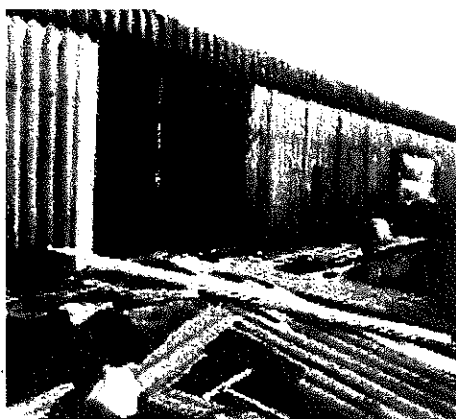
(3) 医師の地域偏在及び診療科偏在を解消へ取り組みを！



宮古島台風被害・赤土流失調査

2019年8月

相次ぐ台風の襲来で、サトウキビなど農作物への被害が大きい。畑からの土の流失。島尻地区の圃場から海への赤土は池間大橋付近までの広い範囲で流失。県へも対策を申し入れる。



城辺地区7のきのこ生産施設



西原・島尻地区の赤土流出



農家への被害聞き取り

県議会活動

2019(令和元)年

代表質問 2019(令和元)年6月議会

保良地区への弾薬の建設の危険性・住民反対の意思を受け止め、防衛省へ！



宮古・八重山の陸自基地建設について

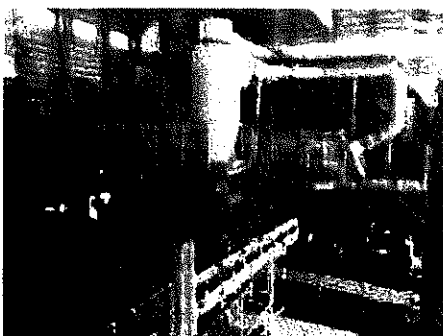
(1)、防衛省・沖縄防衛局による陸上自衛隊宮古島駐屯地(千代田)の弾薬庫虚偽説明と弾薬庫、あるということ、運び込まれたということすら隠蔽されたという事実について知事の御見解を伺う。また、県は防衛省・沖縄防衛局に対し、その後どういう対処をされたかを伺う。

(2)、先島配備の地对艦ミサイルについて、陸上自衛隊の教科書(教範)で、火災の際、爆発まで約2分とし、火災時、住民の避難は困難であることが明らかになった。弾薬庫建設予定地の保良鉦山は、近いところで200mを切り、100軒以上ある集落は、自衛隊の指定する第一種保安物件に当たるのではないか。その集落がある中で県は住民の生命、安全を守る立場から自衛隊の弾薬庫建設の撤回を求めるべきだと考える。知事の御見解を伺う。



多良間村製糖工場等視察 2019(令和元)年8月

多良間村の製糖工場を視察。新しい黒糖生産ラインの説明では、外国へも販路拡大に力を入れたいと。職員の方々に働き方改革に伴う製糖工場での課題についても聴き取り。畜産、農業関係を視察。



陸自保良弾薬庫建設反対！ 知事の現地視察を！地域代表と要請！

保良・七又の地域住民と平和運動団体で県庁へ。

陸自弾薬庫建設反対集会
の決議文と資料を携えて、
知事の弾薬庫建設の現地
視察を強く訴えた。

穏やかな島が弾薬庫で
「標的の島」となる危険性を
訴え、辺野古新基地建設
と同様に南西諸島の軍事
基地化の現状を考えてほしい
と要請。その後記者会見 2020年1月22日



ひとり親家庭への自立支援事業の取り組み を視察・調査

うるま市「マザーズスクエアうるはし」 2020年1月

宮古島市にも必要なひとり親自
立支援のための施設をうるま市
の「うるはし」を視察。市は独自の
と取り組みが必要となっているこ
とから、宮古島市議（仲里市議、
島尻市議）、事業の実際の体制
や課題等を学ぶ。(2020年1月)



県へ要請した地下水調査のモニタリング地点の追加調査

宮古島市環境保全課に同行調査 2020年2月

陸自基地千代田付近の地下水調査、保良弾薬庫建設工事中の周辺の地下水調査の必要性を議会で求めた。県は、宮古島市と協力して地下水モニタリング調査を2か所、追加を実施。調査地を確認のため調査に同行



2020年2月4日

県議会 2020(令和2)年

一般質問 2020(令和2)年2月定例会

■玉城テニ一知事へ、宮古の弾薬庫建設地を早期に視察するよう求める！



池田知事公室長は、弾薬庫建設地への知事視察について、「知事は、できるだけ多くの離島へ足を運び、施策に生かすように取り組んできた。1月22日に要請があった視察についても検討していきたい」と説明した。再質問での視察の時期の問いに対し、「具体的な時期を明確に申し上げることは難しいが、全体の知事の業務を見ながら、時期を検討していきたい」と述べた。

■条件不利性解消へ施策の強化・黒糖の販路拡大を！

県は、離島の農水産物流通条件不利性解消について、2022年度からの計画に、県政の最重要課題と位置付け、振興発展に取り組む」と述べた。また、県産黒糖の販路拡大について、2020年度は、一括交付金の新規事業で「沖縄黒糖販路拡大プロモーション推進事業」を立ち上げ、商談会の実施や消費、商品開発支援等などの取り組みを強化する」と語った。

■離島の不妊治療希望者への支援の拡充を！
離島の特定不妊治療については、県としても渡航費等を含め支援してきたところ。離島からのタイミング治療に係る航空機の座席確保の必要性と航空会社への県から協力依頼については、状況を確認しながら県としてかわり方を検討すると答弁した。

■住宅確保の困難さが指摘される離島赴任の教職員等への対応を！

住宅確保の困難さが指摘される離島赴任の教職員について、教育長は、「県立学校教職員の着後手当を増額支給した。臨時的任用職員に対しては、20年度から期限を限定して一定戸数の民間賃貸住宅を借り受ける」と答弁。*委員会の質疑で、県立病院を含む県職員への支援についても確認した。

■多良間のフェリー新造船へ県の支援、農業用水の確保への支援を！

県は、宮古島-多良間島間のフェリー新造船への支援については、「20年度から21年度にかけて支援することとしている。多良間航路の建造支援を着実に実施し、航路の確保維持に努める」と答弁した。また、多良間村の農業用水確保については「7カ所、50万トンの貯水池に雨水を集めるために464畝の整理計画を進めている」など答弁。

■子ども虐待防止への対策の強化を！

虐待防止対策の強化については「沖縄県子どもの権利条例を尊重し虐待から守る社会づくり条例」を制定し、児童相談所の児童福祉司を増員し体制の強化を図る。虐待のあった親子への支援は、身近な地域でも実施できるよう検討していくと答弁



■ハンセン病療養所の将来構想、回復者支援へ県の施策を！

県は、沖縄2圏の療養所の将来構想に関わり、宮古南静園は「検討会議」の開催を県も協力していく。退所者・非入所者支援については、課題となっている後遺症に起因する治療等について医療機関と協力して取り組む考え。啓発事業は、医療従事者研修の実施を検討していると答弁。

へき地医療の課題、診療所を視察

県立八重山病院・伊原間診療所

2020年2月

八重山病院を訪問、離島の医療の現状と患者搬送用のヘリポートの課題について、県立八重山病院篠崎院長に話を伺う。コロナ対策の診察室や感染症用病棟を見学。へき地医療を担ってきた伊原間診療所を調査。八重山病院長に案内をしていただき、今後の対応について聴く

2020年2月4日



伊原間診療所・へき地医療を調査

新型コロナウイルス対策の強化を

県議会補正予算案で質疑

2020年3月23日

■新型コロナウイルスの感染拡大に対する経済対策費を盛り込んだ2019年度一般会計補正予算案(2億2800万円)と、20年度同補正予算案(170億円)が上程された。

■新型コロナウイルスの緊急対策・水際対策へ玉城知事の決意を！

新型コロナウイルスの緊急対策に向けた決意を玉城デニー知事に質した。知事は、「外国からの航空機の減便、観光客の減少などで、県内の社会経済に数々の影響が及んでいる」と述べ、「本県が抱える特殊事情を考慮の上で、国の緊急対策と連動し、県のとり得るあらゆる対策を迅速に切れ目なく進めていきたい」と決意を語った。

空港の国際線での対策同様、国内線や離島の空港などでも、「サーモグラフィ」の設置等、体制の強化を求めた。県は、対策会議で検討していくと回答した。

■離島を含めた対策の強化、農家などへの支援をしっかりと対応してほしい！

●離島の対策、各圏域保健所での相談、検査への対応、患者発生時の対策を質疑。

県の各圏域保健所において、住民からの相談を受け付け、検査も対応している。(宮古保健所等)

患者が出た際、宮古・八重山病院等の県立行院での対応が可能。また重篤な患者を本島病院への搬送について、設備が整っているメッシュサポートのヘリ、海保のヘリでの搬送するための対策を講じると、保健医療部長が答弁した。

今、宮古島では、トウガンが市場の取引が減少、農家への影響が出始めている。他の作物の影響も懸念されることから、産地拠点作物の離農者が出ないためにも対策をしっかりと実施することが求められる。県単独でも対策に力を入れてほしいとの質問に、農林水産部長が「(価格下落分のうち一定割合について補償を行う)価格差補給金の交付や、県産品類について、生産者団体と連携し、農林漁業者の経営安定に向け必要な対策を講じる」と強調した。



県へ早急に対応を求めた離島への新型コロナウイルス予防対策、宮古空港の「サーモグラフィ設置」について状況を調査

2020年4月19日 宮古

空港



新型コロナウイルス予防対策として設置された宮古空港出口ロビーのサーモグラフィ。

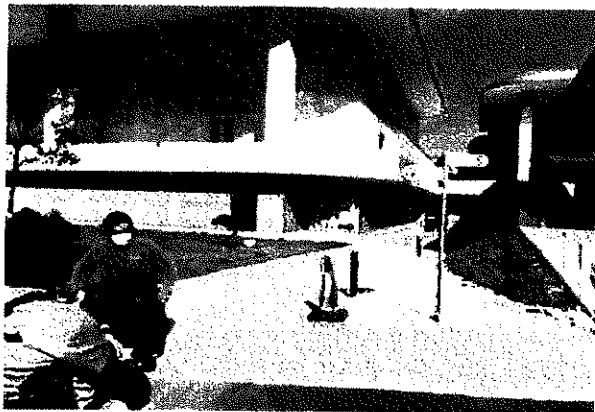


東京直行便を試験的に実施し、前便に広げる形に。担当者は委託事業所が対応。県のコロナ予防に関する啓発用チラシも配布されている。

宮古島市未来創造センター（図書館・中央公民館）

バリアフリー調査 協力：自立生活センターまんだ

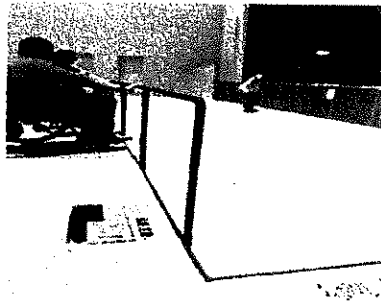
2020年4月16日



障がい者用駐車場からの出入りを点検、坂の利用は難しい。



段差、隙間が大きい箇所があり。車いすでは危険。対応が必要と指摘。



併設の公民館の客席を調査。段差が大きく危険と指摘。市議会でも取り上げられ、改修されることに。



後日当事者との意見交換へ

宮古島・多良間島、離島の声を県政へ！

沖縄は、東西約1,000キロ、南北約400キロに、39の有人離島が点在しています。宮古島や多良間島を含め、離島の不利性解消を訴え、島々が大切にされる施策の充実を求め、県議会活動は3年余、学校での医療的ケア児童への支援や沖縄県中央児童相談所宮古分室の設置、離島の患者等支援の拡充などを実現することができました。市民の皆さまに感謝を申し上げます。

先前知事から県政を引き継いだ玉城デニー知事は、「離島力の向上」「誰一人とり残さず。『会づくり』「持続可能な優しい沖縄」を旨とし、基地問題、子どもの貧困問題、若者の自立支援、雇用問題など山積する課題に力を入れています。

今年、首里城の復興への取り組みをはじめ、県でも発生した豚熱(CSF)対応、防疫対策等にも、懸命な取り組みを行っています。「どこに住んでも、誰でも命の重さは平等である」ことを願い、離島の医療や福祉の課題への取り組み、子どもたちの育ちや学ぶ環境の充実、高齢者や障がいのある方々が安心して暮らせること、農業、漁業の振興、観光のあり方やオーバーツーリズムの課題、命の水、自然や伝統文化が大切にされる安心して暮らせる島をめざしています。

保良地域における陸自弾薬庫建設工事が、防衛省により強行されている状況に堪えし建設中止を訴えてきましたが、今後も住民と共に強く反対します！戦後75年、沖縄戦の悲惨な体験を伝え、平和を希求する県民の辺野古新基地反対の意思を軸に、「沖縄を平和の緩衝地帯」をめざす知事に賛同します。

沖縄振興計画の「沖縄21世紀ビジョン基本計画」が残り2年となっています。島しょ県沖縄の発展、島々の暮らしが大切にされる沖縄らしい優しい社会づくり、そして地方自治のあるべき姿を、玉城県政と共にめざします！

離島の不利性解消のため、実現・拡充した主な取り組み

■離島患者支援を拡充！

- 沖縄県中央児童相談所宮古分室設置・体制の拡充！（2017年から実施）
- 離島患者等島外送院費支援事業の拡充（離島18市町村で実施！がん患者、特定製薬、小児慢性特定疾病、特定不妊治療、子宮がん検診検診費等）
- 北部・結核専門医師派遣事業拡充（県立宮古病院血液透析専門医診療等）
- 沖縄県ヘルプマークを全市町村で実施（2018年）
- 送院患者支援「ネット119」の拡充へ（2020年）



■離島の生活支援の拡充・離島割引の継続！

- 離島住民等交通コスト負担軽減（離島割引）事業の継続！
- 大分島へ移動版 equal 支援事業 実現！（沖縄県から大分県へ！）（2017年）



■離島の児童生徒支援・子育て支援の拡充！【教育・子育て支援・子ども貧困対策】

- 離島の児童生徒生活支援費補助事業（中・高校生大会）の拡充！（2020年）
- 中学校・高校への部活動指導員の配置（2019年開始、今年拡充）
- 小・中学校へスクール・サポート・スタッフ派遣事業（2019年開始）
- 学校での医務的ケア児へ支援の拡充（2017年）
- 子どもの居場所・学習支援・ひとり親家庭支援事業の拡充！
- 保育士試験・スキルアップ研修修了認定（専三・不登校等）実現！（2018年）
- 伊良部高校の生徒支援へ（2020年）



■多良間フェリー新造船実現！

- 多良間フェリー新造船事業（総事業費17億円内、10億円を県支援！令和3年度に就航予定）
- 多良間村農水産水産物・畜産物等事業 県支援強化！



■農水産物不利性解消・黒糖の販路拡大へ！

- 離島の農林水産物流通不利性解消助成事業 継続が実現！
- 沖縄県農産物販路拡大プロモーション推進事業 新規実現！（2020年）
- 家畜伝染病予防事業拡充！（2020年）
- パワートEZ振興助成支援事業（畜産振興に関する情報収集等） 新規実現！（2020年）

■地下水モニタリング調査の拡充！

- 宮古島地下水調査 モニタリング採水地追加 拡充！（2019年）
- 動物収容・環境拠点整備事業（新規）で保護団体とネットワーク強化（2020年）
- 離島畜産物産正始産産事業の拡充！（2020年）
- 不発弾等埋蔵物調査事業 地元発注継続！（2020年）
- 県青少年野生動物保護条例 実現！（2019年）
- 辺野古新基地建設・住民生活の不安定化・弾薬庫建設にNO！



■離島赴者等へ支援！

- 宮古・石垣への県職員・教職員の離島赴任後手当増額！（2019年）
- 経済的弱者層の赴任への民間住宅一一定額助成の支援（2020年）

■観光・離島振興！

- 下地島空海の歴史、平和的利用で宮古島・沖縄の発展へ
- 若島観光・交流促進事業、若島観光活性化促進事業
- 離島空海整備事業（宮古空海・多良間空海）、地割大規模リノベーション事業
- 宮古島南五城公設計画の事業化へ



玉城デニー県政と共に！



知事へ新年版の予算・施策を会派訪問